



【写真】神威岬（積丹町）

INDEX

- 3 第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会のご案内
- 4~6 令和5年度上期北海道地区印刷協議会開催される
- 7 HOPE2023 開催あいさつ
- 8 HOPE2023 開催のご案内
- 9 HOPE2023 基調講演のご案内
- 10 HOPE2023 セミナーのご案内（9月6日）

- 11 HOPE2023 テクニカルセミナーのご案内
- 12 HOPE2023 セミナーのご案内（9月7日）
- 13 HOPE2023 会場案内図
- 14-15 HOPE2023 出展機器等のご案内
- 16~20 紙上暑中見舞名刺交歓

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



リンゴは何色？

イメージを疑え〜「既成概念」という「過去」からの脱却



第33回

北海道情報・印刷文化典 旭川大会

2023 HOKKAIDO PRINTERS FORUM in ASAHIKAWA

2023.8.25(金)

15:00～記念式典

16:30～記念講演

18:00～記念パーティー

会場：OMO7旭川

旭川市6条通9丁目 ☎0166-29-2666

26(土)

8:00～記念ゴルフ大会

旭川国際カントリークラブ 上川郡愛別町字伏古 ☎01658-6-5211

記念講演「JAXAの宇宙航空活動と業務」

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 広報部 企画・普及課長 田辺 久美子氏(旭川市出身)

【経歴】附属旭川中学、旭川東高、津田塾大学卒業後宇宙開発事業団(現JAXA)入社
入社後は副理事長秘書、NASA広報リエゾン、人事部人事課など



北海道印刷工業組合

自社の独自化（ブランディング）となるMUD

令和5年度上期北海道地区印刷協議会

令和5年度上期北海道地区印刷協議会が、6月30日午後2時から、札幌市中央区の札幌パークホテルで、全印工連から浦久保副会長、富澤常務理事、雨宮事務局次長と広島県工組から中本理事長ならびに組合員・賛助会員45人が出席して、全体会議、委員会、総括会議、情報交流会を行い、ビジネスに役立つMUDについて理解を深め、組合加入メリットを追求した。

全体会議



岸 昌洋
理事長

全体会議は、岸昌洋理事長が「全く終わったわけではないが、コロナも大分収束をした。また第9波とかいわれているが、久しぶりに私もマスクを外して皆さんの前で挨拶をさせていただいている。観光客も北海道の場合、非常に多く外国人を含めて観光地に戻ってきている。いつも地区協で話をさせていただくが、この地区協は、組合として各支部の皆さんに日頃全印工連として考えることを伝え、如何にお役立ちができるかを示す機会として設えさせていただいている。今日は長丁場で夕方まで時間をいただくが、折角の時間であるので、是非とも自社に持ち帰って参考にさせていただきたい。今日この場で分からないことや不明の点があれば組合に意見等をいただければと思う」と、あいさつを述べた。



浦久保 康裕
全印工連副会長

次に、浦久保康裕全印工連副会長が「早いもので滝澤会長になって3年が過ぎた。チーム滝澤の最終の仕上げの年に入っている。思い起こせばコロナとともにスタートした滝澤体制であるが、この宿命を語り出すときりが無いので、それはさておいて、プラスでいうと全印工連はこのコロナで大分変わった。逆にいうとIT化が進んで全印工連のDXが進んだと思っている。皆さんに印カレ、オンラインによるセミナー、リアルであればそんなにたくさんの人が東京にきていただくことはなかった。オンラインになって全国から200人、300人の方たちに全印工連のセミナーを聞いていただいている。これはプラスの側面ではないかと思っている。全印工連47都道府県、私は近畿地区であるが、滋賀県は20社を切っている。四国全県を合わせても100社を切る。なかなか単独では事業が出来ない。こんな中で全印工連が提供するオンラインや、後の委員会で紹介があると思うが、たくさんのプログラムを用意している。是非、活用をいただいて、支部の皆さんにも全印工連の恩恵を享受してもらいたい。滝澤会長のもとでオンラインによるセミナーや、eラーニング、そして印カレの充実をしてきた。DX-PLATはなかなか



が苦戦をしているが、生産集約をしよう、機械を出しなさいという話ではない。自分のところで投資ができない設備、もしくは自分のところで提供できない営業品目を、アライアンスを組むことによって提供できると思っていただきたい。令和4年度下期地区協でストアフロントということを全印工連から皆さんに話をさせていただいた。これは営業品目そしてオンライン、eコマースで全国の受注を取れる。北海道はたくさんの支店があるし、たくさんのコンテンツがある。我々からみると本当にうらやましいエリアだと思う。目先の仕事でなく、もっと全国規模で考えていくといろいろな商材がある。それを是非オンラインで結んでいただきながら生産集約をやっていただきたい。北海道もインバウンドが戻ってきている。統計によると2015年の1,500万人レベルに観光客が回復し、これに中国が戻ってくるとコロナ前の2,000万人、3,000万人がその先にあることは十分予測できる。そんな中で、我々印刷業はこの3年間で失ったもの、回復できていないものがたくさんある。インバウンドが戻ったからといって即自社の売上につながるかは別の問題である。こんな時、全印工連が提供するプログラムをしっかりと活用していただきながら、自社のこれからと印刷業の将来がどうあるか、まさしくここにお見えの皆さんの双肩にかかっている。もっともっと可能性がある。そして就職したい業界にしていけるために勉強していくべきである」と述べた。

次に、雨宮昌平全印工連事務局次長から、①全印工連令和5年度事業計画、②グリーン購入法における特定調達品目の見直し、③総務省の調査にみる知的財産権の取り扱いの現状などについての全印工連事業概況説明が行われた。

次に、浦久保康裕全印工連副会長から「ビジネスに活かすMUD」についての講演が行われた。

浦久保副会長は、「社会が今、MUDを必要としている。情報伝達分野における合理的配慮は必須」として、お客様に伝える必要性の背景が、社会環境の変化（①少子高齢化で労働市場の変化、②外国人労働者による職場における多様性、③発達障がい児の増加、④情報のバリアフリーへの期待）、法律の要請（①障害者差別解消法への対応、②障がいを持つ方の社会参加にむけ強まる要請）、持続可能な世界の目標（①SDGsの取り組みの拡大）、社会（SR調達）での活用（①導入が進む人権への配慮）にあるとし、MUDをビジネスに活用するヒントとして、BCP…命を守る視点（①災害対策標識での使用例、②ハザードマップ、災害時での情報弱者への対応）、学びを支える視点（①もっと学びやすい教科書へ啓林館MUD認定教科書、②インクルーシブ教材）、生活の中で生きる視点（①指さし会話版、②店舗認証）などを紹介するとともにMUD協会の支援メニュー（①MUD支援ツール、②オンライン講座・検定）、伝えるためのユニバーサルデザインフェアの開催について紹介したうえで、MUD採用のプロセスは、①MUDの基本的スキルを身に付ける、②なぜMUDが必要なのか背景を語る引き出しを作る、③営業トークや打ち合わせでMUDの内容を織り交ぜる、④MUD配慮の制作を心掛けお客様に有効性を実感してもらうことで地道な繰り返しが必要で、時間がかかると説いた。最後に「納期や金額の競争ではなく印刷会社らしいMUDの配慮でお客様に喜んでもらい売り上げやファンを増やす」という自社の独自化（ブランディング）となるMUDとすると結んだ。

次に、矢吹英俊教育研修委員長から「全印工連印カレラーニング」について説明が行われた。（全印工連印カレラーニングについては、本紙令和5年7月号（第806号）を参照ください。）

次に、中本俊之広島県印刷工業組合理事長から、本年10月13・14日に開催される「2023全日本印刷文化典広島大会」のピーアールが行われた。

委員会

組織共済、経営革新マーケティング、教育研修、環境労務、青年部の5つの委員会に分かれ、報告事項、依頼事項、協議事項について、情報提供・意見交換が行われた。

総括会議

各委員会の協議内容について、各委員長から発表が行われ、それを受けて、岸理事長が総括を行い、浦久保副会長から感想所見が述べられた。

組織共済委員会（植平有治委員長）

協議事項として2つある。1つは組合員の加入促

進。これは半永久的なテーマであるが、なかなか厳しいという意見が出ている。印刷にこだわらなくてももう少し枠を広げていった方が加入促進しやすいのではないかという意見があった。組合の活動そのものが知られていない。組合は素晴らしい活動を行っているので、常に発信をしていく。2つ目の各種共済制度の加入促進については、生命共済は掛金が戻ってくるのを知られていない。当社は年間累計掛金が15万円であるが配当が5万3千円返ってきた。約35%。多い時は45%戻ってくる。こういうメリットを知らないのではないか。掛け捨てと思っている人が多いと思うのでこういうことも含めて周知をしていかないとならない。各社への説明は保険会社も一緒に行った方が加入は伸びるという意見もあった。

経営革新マーケティング委員会（岡部信吾委員長）

当委員会はセミナーが多い。是非、皆さん受けてほしい。浦久保副会長に同席いただき、組合のスケールメリット、事業領域拡大などについて話をもらった。

教育研修委員会（矢吹英俊委員長）

教育研修委員会では先ほど説明させていただいたeラーニングの体験会として実際に動かして体験をもらった。富澤委員長が同席されたので全道の教育研修委員と話をした。残業や働き方、印刷以外の事業領域の拡大の方法などについて話し合いをした。

環境労務委員会（大和繁樹委員長）

3月に地区協があったので、その後、新しい話はなかったが、4月から雇用保険料率の変更等の労務関係の話をさせてもらった。10月から始まるインボイス、来年の物流問題等について意見交換をした。

青年部委員長（齊藤満生委員長）

中本理事長に出席いただき各地域の青年部の状況を話し合った。中国ブロックの青年部の活動状況は県工組によって開きがあるとのことであった。北海道は単一工組であるが、次の担い手がなかなか



いない。この先、青年部が活発に動かないと、この先の組合もないと思うということを意見交換した。9月23日土曜日午後1時から北海道ブロック協議会を開催する。各地区の青年部候補を札幌に派遣していただき、たくさんの参加をお願いしたい。

岸理事長 総括

今日、富澤委員長に来てもらっているが、印カレラーニングは19のメニューがある。今、DXを推進しなければならない。印刷業界がどうか、メーカー、ベンダーが言っているのではなく、国がそうしてください、そうしなさい、そうやっていきますとして進めている国策である。我々経営者はもちろんであるが、社員の皆さんがどうやって対応できるかにかかっている。こういう機会を是非活用していただければと思う。中央会の助成金もあるので活用いただきたい。

インボイスの対応は10月1日から国策としてやることが決まっている。領収書、請求書を印刷されているところは必ずこれに対応しなければならないので刷り直しということになる。

全印工連からの案内のなかで再生紙と知的財産権の話があった。総務省から全自治体に知財に違反した仕様書を作らないように通達が行われている。再生紙はもう作っていないので調達ができないなかで仕様書にはグリーン購入法に則しなさいとなっているので、全印政連を通じて国に動いてもらっている。

旭川大会に皆さん参加いただきたい。

MUDフェアが8月に東京で開催されるので参加いただきたい。

広島大会にも是非参加いただきたい。

全国各ブロック地区協で青年部委員会があるのは北海道だけである。青年部組織を活性化しなければこの先はない。

浦久保副会長 感想所見

全印工連が今議論している1つの課題として、地区協の活性化がある。今日この短時間で全印工連が進めているさまざまなプログラムを一方的に話されても理解もできないし、どう進めたら良いかもわからない。これが本音だと思う。我々もその辺は十分認識をしている。私も大阪で理事長をやっていて、大阪には15の支部がある。支部長と話をする会がある。本部はいろいろ言うてくるがそんなことできないと常々言われる。私は、支部は懇親・交流に徹しなさい。地域のなかでしっかり皆さんと交流しなさい。勉強の部分は本部に任せる。印カレラーニングもそうであるが、全て地方に居ながらでも十分全印工連が行っているメリットを享受できる時代になった。全印工連のなかで使えそうなものを支部のリーダーの方が選択して行っていただければ十分役に立つコンテンツは提供できている。DX-PLATって何ですかと未だに言わ

れる。私としてはこれだけ言っているのだから理解してほしいと思うが、なかなか浸透していないのも事実である。ですから進まないのも現状である。

組合員の拡大は、どうやって進めていったらいいのか、皆さんは自社をどういう会社と定義されるか。弊社は販促支援会社と社員に言っている。お客様の売ること、お客様の行くことを支援する会社である。例えば、帳票・伝票類に強い会社であれば管理部門の効率化をコンサルできる会社となる。印刷物ではなく自社の定義が大事である。当然、販促支援会社で自社に優秀な人材がいなければ、デザイン会社、ウェブマーケティングを行っている会社と協業していく、そういう勧誘をしていく。Adobeライセンスは全印工連で8,500に近い数を扱っている。間違いなく日本で一番安い価格で提供できる。規模が小さい会社であれば賦課金を払っても十分お釣りがくるくらいAdobeライセンスで戻ってくる。共済もそうである。安い掛金で社員の福利厚生が確保できる。使わなければ共済なので戻ってくる。そういうことができている会社に、印刷工業組合の提供するメニューをいうと皆さん大変驚かれる。これだけの規模、これだけのメニューで、いろいろなことを提供できている団体は他にはない。是非、地域でこれから販促支援会社として、もしくは事務の効率化を進めるコンサル会社として考えるのであれば、その周辺の会社を巻き込んで協業してほしい。自社で優秀な人材を採れる時代ではない。是非、協業して、アライアンスを組んでお客様の高度なニーズにどう対応していくかを考えていただきたい。そういう面では全印工連の行っているプログラムは大変役に立ってくる。現場・お客様はこういうことを望んでいる。是非、そういう視点で全印工連のメニューをチェックいただきたい。全印工連のメールマガジン、ホームページをチェックしていただきアップデートされている情報をとっていただきたい。組合員が減ったといってもまだ全国4,600社の規模がある団体は他にはない。この数の理論でこれからも全印工連はいろいろなサービスを準備していくので全印工連を活用いただきたい。



HOPE2023 開催のご案内

HOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO) は、展示会とセミナーを組み合わせた情報発信と学びの場として、2016年からこれまで6回開催して参りました。

お蔭様で多くの方々から高い評価をいただいております。

新型コロナウイルスは、世の中の様相を一変してしまい、印刷産業もその影響により、取り巻く環境が様変わりし、急進するデジタル化へDX対応が急務となり、未曾有の転換期にあり、勝ち残っていくためには、過去の延長線から脱却した新しい印刷産業へのリ・デザインが求められています。

そのためには、ハードとソフトの両方に着目をして、新しい目線で印刷産業を捉え、印刷産業が発展を遂げられるようにしていかなければなりません。

HOPE展は、これまで3年間、新型コロナウイルス感染予防のため制限を加えての開催でしたが、第7回となります今年の「HOPE2023」は、アフターコロナを意識して、正規のかたちで出展者の皆さんと来場者の皆さんがコミュニケーションを図りながら開催ができるよう準備を進めています。

また、HOPE展は、働き方改革により就業形態が変化していることから、昨年より平日開催としています。

本年も、9月6日(水)・7日(木)の平日2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで、「未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～」をテーマに開催します。

HOPE2023は、過去6回の反省点を踏まえ、さらに工夫を凝らし、情報発信と学びの場として、より有効に活用できるように努めて参ります。

情報発信の場としての展示会では、47社の皆さまから、印刷産業として勝の残るための最新の機器・技術・サービス・情報等が紹介されています。

学びの場としてのセミナーでは、実行委員会主催2セミナー、6社の出講による6セミナーの計8セミナーを構築し、経営・営業・技術・サービス・情報等について広く勉強の機会を用意させていただきました。

印刷関連業の皆さまをはじめ、印刷ユーザーの皆さまにも、是非、ご来場いただき、日々、革新する印刷産業の現状を共有いただき、共に課題解決の突破口を見出すチャンスに行きましょう。

多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

HOPE 実行委員会
会長 岸 昌洋

HOPE2023のご案内

出展47社84小間・セミナー8セッション

9月6日(水)・7日(木)／アクセスサッポロで開催

HOPE実行委員会は（北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合）は、HOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO)2023を開催する。

新型コロナウイルスは、世の中の様相を一変してしまい、印刷産業もその影響により、取り巻く環境が様変わりし、急進するデジタル化へDX対応が急務となり、未曾有の転換期にあり、勝ち残っていくためには、過去の延長線から脱却した新しい印刷産業へのリ・デザインが求められている。

そのためには、ハードとソフトの両方に着眼して、新しい目線で印刷産業を捉えなければならない。

「HOPE2023」は、この期待に応えるため、情報発信と学びに主眼を置き、印刷産業が発展を遂げられる産業展として、2016年からこれまで6回開催し、今年が7回目となる。

〔主催〕

HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合
北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合
北海道製本工業組合
北海道フォーム印刷工業会
北海道紙器段ボール箱工業組合

〔後援〕

経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市
北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所
北海道中小企業家同友会

〔協賛〕

(株)印刷出版研究所、(株)日本印刷新聞社
ニュープリンティング(株)

〔会期〕

令和5年9月6日(水)・7日(木)
10:00～17:00 (7日は16:00終了)

〔会場〕

アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3番55号）
展示会：Dホール
セミナー：小展示場・レセプションホール

〔交通機関〕

公共交通機関利用の場合は、地下鉄東西線「大谷地駅」またはJR函館本線「厚別駅」が最寄り駅になる。車で来場の場合は、無料駐車場が利用できる。

〔展示会出展社〕

47社、84小間

〔展示会出展機器〕

印刷機械、プリプレス機器、製本機器、情報機器、加工機械等総合印刷機器、各種ソフトウェア、印刷製品等

〔セミナー〕

基調講演・テクニカルセミナー・出展社企画セミナー
(6セッション) 合計 8セッション

HOPE 2023
HOKKAIDO PRINT EXPO

デジタルで攻めろ。

未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～

展示会 & セミナー8セッション

日時 令和5年9月6日(水)・7日(木) 10:00～17:00 (7日は16:00終了)

会場 アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

主催：HOPE実行委員会
北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合
後援：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所、北海道中小企業家同友会
協賛：株式会社印刷出版研究所、株式会社日本印刷新聞社、ニュープリンティング株式会社

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.print.or.jp> 北海道印刷工業組合 検索

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<https://www.print.or.jp>

ビジネスを守り、競争力を高める！ BCPが導く！未来を創る戦略

HOPE2023 基調講演のご案内


今年の基調講演は、BCPにスポットを当て、鳥原久資全印工連副会長を講師に招き、開催します。

印刷業界におけるBCP（事業継続計画）の重要性に焦点を当て、安心経営とお客様へのサービス向上のための具体的な手法を解説します。

事業の継続性を確保するためのステップやリスク管理のポイントを、わかりやすく事例を挙げて解説します。

お客様への会社独自のサービス提供につながる構成となっています。

会社一体となった取り組み方など、具体的な活動をお伝えすることで、社員と共に策定するきっかけ作りとなる内容です。

日時	令和5年9月6日(日) 10:30~12:00		
会場	アクセスサッポロ 1F 小展示場		
テーマ	ビジネスを守り、競争力を高める! BCPが導く! 未来を創る戦略		
講師	全日本印刷工業組合連合会 副会長/株式会社マルワ 代表取締役社長 鳥原久資 氏		
受講料	無 料	定 員	50人
申込期日	令和5年8月31日(日) [ただし、定員になり次第締め切ります]		
受講申込	次のいずれかによりお申し込みください ①北海道印刷工業組合ホームページから申し込む https://www.print.or.jp/form/hope2023form.html ②スマートフォンから申し込む		※コチラから➡ 

★セミナー受講は、完全予約制です。

講 師 紹 介

鳥原久資 氏

1958年名古屋市生まれ。愛知教育大学卒業後小学校、中学校で教諭として勤務。
1989年株式会社丸和印刷（現株式会社マルワ）に入社。1998年から現職。
2006年に愛知県印刷工業組合主催のBCP策定講座の受講を機に取り組みを始め、
以来32回にわたり内容を改定し運用している。
その地道な運用の継続が中小企業では珍しいと訪れる会社見学者も多い。
またNHKをはじめとする報道機関の取材、そして防災カレッジをはじめとする講師も務めている。
2020年、全日本印刷工業組合連合会副会長、愛知県印刷工業組合理事長に就任し、現在に至る。



セミナー／第1日

9月6日水

〔会場〕A：小展示場（1階）

B：レセプションホール（2階）

時間		主催会社	受講料 定員	テーマ	講師
会場	セミナー番号				
10:30~12:00		HOPE実行委員会	無料 50人	ビジネスを守り、競争力を高める！ BCPが導く！未来を創る戦略	全日本印刷工業組合連合会 副会長 株式会社マルワ 代表取締役社長 (愛知県名古屋市) 鳥原久資 氏
A	基調講演				
<p>印刷業界におけるBCP（事業継続計画）の重要性に焦点を当て、安心経営とお客様へのサービス向上のための具体的な手法を解説します。</p> <p>事業の継続性を確保するためのステップやリスク管理のポイントを、わかりやすく事例を挙げて解説します。</p> <p>お客様への会社独自のサービス提供につながる構成となっています。</p> <p>会社一体となった取り組み方など、具体的な活動をお伝えすることで、社員と共に策定するきっかけ作りとなる内容です。</p>					
12:30~13:30		富士フィルム グラフィック ソリューションズ(株)	無料 40人	富士フィルムが提唱する 印刷DX構想 ～自社の現在地を知る。そして市 場拡大への具体的なアイデアを その手に～	富士フィルムグラフィック ソリューションズ株式会社 デジタルソリューション 営業部 佐藤伸之 氏
B	①				
<p>過去2回は、利益創出のための最適生産環境の構築を行う事による「生産基盤強化」をメインにご提案させて頂きましたが、今回は、それによって得られた経営資源の余力を活用し、成長戦略の実現へ向けた効果的な攻めの営業の道具（アイデア）をご紹介します。</p>					
13:45~14:45		ハイデル・フォーラム21 北海道地区会	無料 50人	製造現場のポテンシャル 見えていますか？ ～ポテンシャル分析から見えてくる 製造現場の利益～	ハイデルベルグ・ジャパン 株式会社 ライフサイクル オペレーションズ本部 波田野秀樹 氏
A	②				
<p>製造現場のポテンシャルを引き出して生産性を最大化することで利益が生まれます。ではポテンシャルとは何でしょうか？これまで当たり前に行っている生産プロセスは正しいものですか？実はそこに自分たちでは見えないムダや改善点があります。それらを見つけだし、生産性を最大化するためには何が必要なのでしょう？それには様々な角度から客観的に分析し、PDCAを長期にわたって行うことで製造現場から生まれる利益を生み出すことができます。</p> <p>本セミナーでは、現場のポテンシャルがどこにあり、どのように改善すれば良いかについてご紹介させていただきます。</p>					
15:00~16:00		コニカミノルタジャパン(株)	無料 40人	印刷とデジタルの共創 ～コニカミノルタがご提案する 印刷ビジネスDXの取組～	コニカミノルタジャパン 株式会社 ビジネス DX 商品統括部 統括部長 内田 剛 氏
B	③				
<p>近年、ネットやスマートフォンの普及等によるアナログを中心とした出力需要が減退するなか、印刷業界においてはビジネス規模および収益性の低下、更には慢性的な人手不足等の様々課題に直面しておりビジネスそのもののDXを推進する必要性が急速に高まってきています。コニカミノルタは「印刷とデジタルの共創」をテーマに、受注～出荷、さらには創注（ジョブを生み出す）までの印刷ビジネス全体のDXを推進する提案を拡充しています。</p> <p>本セミナーでは、印刷ビジネスDX推進に向けた取り組みと、コニカミノルタブースでの展示内容につき概要をご紹介します。</p>					


「動画化」から「AI活用」まで デザインの価値を上げる最新ノウハウ集

HOPE2023 テクニカルセミナーのご案内

今年も、昨年好評を博しました、スタジオねこやなぎ代表 大須賀 淳氏を講師に招き、動画にスポットを当て開催します。

メディアの増加やAIの台頭で、激変の時期を迎えているクリエイティブ業界。新しい状況やテクノロジーへの対応は必須の急務であると同時に、業務を大きく飛躍させる大きなチャンスでもあります。

このセミナーでは、昨今大きな話題を集めるAI由来の技術をはじめ、印刷物やWebサイトなど静止画系のデザイン用に制作された素材を活用した動画の作成、従来業務の効率化まで実現する使いこなしなどの最新情報をお届けします。

日 時	令和5年9月7日 10:30~12:00		
会 場	アクセスサッポロ 1F 小展示場		
テ ー マ	「動画化」から「AI活用」までデザインの価値を上げる最新ノウハウ集		
講 師	スタジオねこやなぎ 代表 大須賀 淳氏		
受 講 料	無 料	定 員	50人
申込期日	令和5年8月31日 12:00 [ただし、定員になり次第締め切ります]		
受講申込	次のいずれかによりお申し込みください ①北海道印刷工業組合ホームページから申し込む https://www.print.or.jp/form/hope2023form.html ②スマートフォンから申し込む		※コチラから➡ 

★セミナー受講は、完全予約制です。

講 師 紹 介

大須賀 淳氏 スタジオねこやなぎ代表

1975年生。福島県出身。映像作家、音楽家。スタジオねこやなぎ代表。企業ビデオ等様々な映像・音楽コンテンツを制作すると同時に、書籍や雑誌での執筆、大学やeラーニング等での講師、製品デモなども数多く務める。2014年、日本初のシンセサイザードキュメント映画「ナニワのシンセ界」を監督。近著は「ネット時代の動画活用講座」（玄光社）ほか。



セミナー／第2日

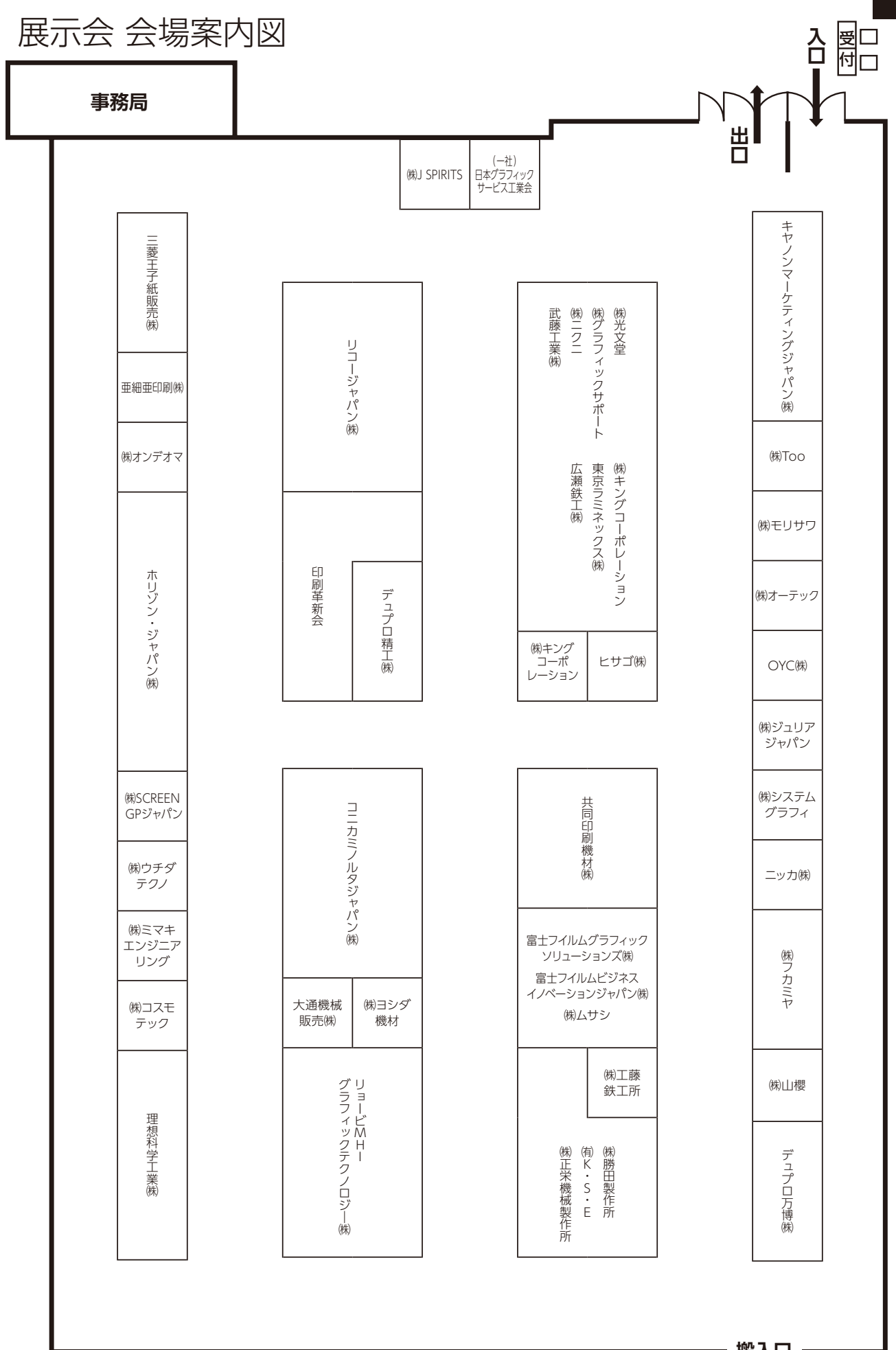
9月7日 木

〔会場〕 A：小展示場（1階）

B：レセプションホール（2階）

時間		主催会社	受講料 定員	テーマ	講師
会場	セミナー番号				
10:30~12:00	A	HOPE実行委員会	無料 50人	「動画化」から「AI活用」まで デザインの価値を上げる 最新ノウハウ集	スタジオねこやなぎ 代表 大須賀 淳氏
テクニカル セミナー					
<p>メディアの増加やAIの台頭で、激変の時期を迎えているクリエイティブ業界。新しい状況やテクノロジーへの対応は必須の急務であると同時に、業務を大きく飛躍させる大きなチャンスでもあります。</p> <p>このセミナーでは、昨今大きな話題を集めるAI由来の技術をはじめ、印刷物やWebサイトなど静止画系のデザイン用に制作された素材を活用した動画の作成、従来業務の効率化まで実現する使いこなしなどの最新情報をお届けします。</p>					
12:30~13:30	B	富士フイルムビジネス イノベーションジャパン(株)	無料 40人	環境配慮と 印刷ビジネスの融合による 付加価値の創出	富士フイルムビジネス イノベーションジャパン株式会社 グラフィックコミュニケーション 営業統括部 販売推進部 経営支援グループ 池田 久氏 江波戸良光氏
④					
<p>民間企業や自治体公的機関の環境意識は年々高まり、グリーン調達対応等、環境印刷への取り組みは企業イメージ向上策を超え、今や事業継続の戦略に不可欠な考え方になっています。</p> <p>本セミナーでは創注に向けて環境対応に強いデジタル印刷で印刷可能な「エシカル（倫理的）ペーパー」とその活用事例をご紹介します。また、環境配慮型用紙の開発モデル、補助金制度活用による有効な環境対応活動についてご紹介いたします。</p>					
13:45~14:45	A	リコージャパン(株)	無料 50人	「印刷革新会」パネルディスカッション 実務者が語る自動化構想での課題 と解決方法	《パネリスト》 株式会社クイックス P&D 戦略部副部長 長谷川克好氏 佐川印刷株式会社 営業支援・ネット営業推進部 部長 一色映志氏 株式会社正文舎 製版課課長／デザイナー 浦田久永氏 《コーディネーター》 株式会社バリューマシーン インターナショナル 取締役副社長 宮本泰夫氏
⑤					
<p>印刷会社3社とメーカー3社がアライアンスを組み「印刷革新会」が発足され、1年が経過しました。今日までに企業間の垣根を取り払い、お互いの目指す方向性を意見交換し、製造工程を自動化することによって収益拡大を図ってきました。</p> <p>本セミナーではこれまでに意見交換してきた経緯から、①取り組んで良かったこと②難しかったこと③新しい発見があったかなど印刷会社3社の実務者が紹介します。</p> <p>会場では、印刷革新会の展示ブースも設けておりますので、会場で取り組みをご覧くださいいただけます。</p>					
15:00~16:00	B	(株)ミマキエンジニアリング	無料 40人	グッズビジネスの今と未来／ 機械を使った受注生産ECビジネス	シンクイノベーション株式会社 代表取締役 三輪直之氏 取締役 平光遼平氏
⑥					
<p>2012年に起業、2014年にシンクイノベーション設立。 仕入れ通信販売から始まった事業は印刷機を導入した受注生産にシフト。その後 BtoB 卸事業、ライセンス事業と事業拡大。印刷機械設備62台。従業員数100名。8年間で急成長を遂げた社長が語る機械を使ったグッズビジネス成功の秘訣。</p>					

展示会 会場案内図



HOPE2023 出展機器等のご案内

亜細亜印刷株式会社

日本語文化を守る!美しい日本語組版を守り続ける持続
可能な組版システム

印刷革新会

RICHO ProC7200S
RICHO ProC5300S
HORIZON無線綴じ機BQ-270V
HORIZON断裁機APC-610
JSPIRITS PrintSapiens

株式会社ウチダテクノ

カッター&クリーサーAeroCut X
印字装置付帯掛機テープットWX II -Pen
カウンtronA150R
フォイルラミネーターDC-XⅢ

株式会社オーテック

B3卓上マルチラミネーターSDX-400

OYC株式会社

印刷会社のための販売システムCOSMOS

株式会社オンデオマ

クラウド型印刷用データ生成システム
「JOIN PIC -VARIABLE-」
クラウド型印刷物受発注システム「JOIN ASP名刺」
紙代替素材「LIMEX (ライメックス)」

株式会社勝田製作所

断裁機SH330HOPJMC-7s

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

imagePRESS V1000 ME JP (本館)
imagePRESS V1000 FS JP (別館)
キヤノン中綴じフィニッシャー・AF1 (YN)
IPRSV RD3000
キヤノン多段デッキ・E1
除電ユニット・A1
LIFEBOOK9310/D

共同印刷機材株式会社

イトーテック断裁機FC3-100
静岡製機加湿機HSE501
静岡製機加湿機HSE302
静岡製機冷風機RKF305

株式会社キングコーポレーション

imagePRESS V800封筒搬送ユニット

株式会社工藤鉄工所

紙揃え機クドエース900MJC-14型

株式会社グラフィックサポート

ApeosPortPrint C5570PIpro
カードインパト (OKI C650)

有限会社K・S・E

製本機器サポート

株式会社光文堂

KBD ProVision340S
KBD AUTO CTM
KBDデザインニスコーター
KBDマルチテーピング
KBD Vカラー
KBDインキディスペンサー
KBDスピンミキサー

株式会社コスモテック

ハイプレッシャー加湿器いつも
ハイプレッシャー加湿器UruOs50

コニカミノルタジャパン株式会社

AccurioPressC4080他オプション一式

株式会社J SPIRITS

PrintSapiens

株式会社システムグラフィ

マーク用水性プリンターMarkJet420
熱プレス機TS-on2
カッティングマシンSiserRomeo

株式会社ジュリアジャパン

映像・ウェブサイト・印刷物の企画・デザイン制作・
管理をワンストップ提供

株式会社正栄機械製作所

コンビネーションKT

株式会社SCREEN GPジャパン

EQUIOS Ver.10/EQUIOS Online Ver.8
PDFFormstudio Ver.2.2
Ken²Pa!
TP-J L350シリーズ (サンプル展示)
TP-J520シリーズ (サンプル展示)
XEIKON SX30000/20000 (サンプル展示)

大通機械販売株式会社

中古機買取案内

デュプロ精工株式会社

インラインDM圧着システムGS-L800
プリンターC5300S

デュプロ万博株式会社

DMコーレーターDM-230sifpc
カッタークリーサーDC-618fpc
高速インクジェットプリンターLM-c6000fpc
フィルム包装機Dn-A60
紙折機DF-1300、DF-999

株式会社Too

カッティングプロッターCF7000-AFS50ES

東京ラミネックス株式会社

ラミネートマシンADX450G

株式会社ニクニ

ECQ503

ニッカ株式会社

印刷資材消耗品展示

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

ジャグラコンパクトDX紹介

ヒサゴ株式会社

フルオートラミネーターHLA-2301

プロスカットPCM-15

広瀬鉄工株式会社

商品パネル展示

株式会社フカミヤ

富士フィルムApeosProC810

富士フィルムGPControllerD01+附属ディスプレイ

カール事務機プロスカット

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

最適生産・付加価値印刷紹介

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

Revoria Press SC180

Revoria Flow SC11

エアークサクシオン給紙トレイC1-DSXL

インターフェースデカラー

紙折りユニットCD2

中とじフィニッシャーD6

天地トリマークリーサーD2

小口トリマフォルダーD1

ホリゾン・ジャパン株式会社

紙折機AFV-566FKT

プレススタッカーPST-44

マシン機VP53

筋入れ機CRS-36

三菱王子紙販売株式会社

三菱サーマルデジプレートシステムTDP-459Ⅱ

EPSONガーメントプリンターSC-F2250

ヒートプレス機

株式会社ミマキエンジニアリング

プレス機PH-4634

株式会社ムサシ

分光濃度・測色計eXact

装置の測色精度最適化ソフトウェア NetProfiler

印刷機の色調管理IntelliTrax2+IntelliPress

武藤工業株式会社

3DプリンターMF900

インクジェットプリンターVJ-628MP

株式会社モリサワ

フロントプラットフォーム「MorisawaFonts」

Webフォントサービス「TypeSquare」

多言語ユニバーサル情報配信ツール「MCCatalog+」

デジタル印刷機「RISAPRESSシリーズ」(サンプル展示)

株式会社山櫻

封筒対応高速インクジェットプリンターYJ-10050

小サイズ・名刺・はがきプリンター CARDMATE Digica Rev6c

封筒用フィーダー

株式会社ヨシダ機材

中古機買取案内

リコージャパン株式会社

RICOH ProC5300

RICOH ProC7200

オンデマンド箔押し機DC2

オートカラーアジャスターRACA

検査機

封筒フィーダー

カッティングプロッターFCX-50ES

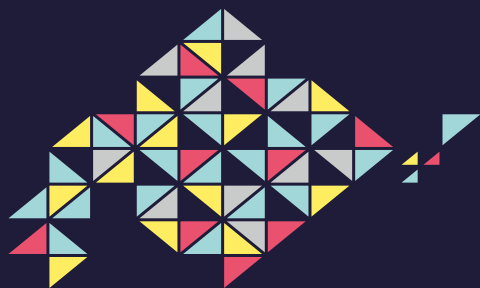
理想科学工業株式会社

ORPHIS GL9730

RISOGRAPH SF939

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

未定



HOPE 2023

HOKKAIDO PRINT EXPO



テーマ
未来創造～攻めのDXで“印刷創注”～

🌀 展示会 & セミナー8セッション 🌀

日時 令和5年9月6日水・7日木 | 10:00～17:00 (7日は16:00終了)

会場 アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

主催：HOPE 実行委員会
北海道印刷工業組合・北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合・北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会
北海道紙器段ボール箱工業組合
後援：経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市・北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所・北海道中小企業家同友会
協賛：株式会社印刷出版研究所・株式会社日本印刷新聞社・ニュープリンティング株式会社